

夏より熱くなれるワークショップ、あります -HAGISO SUMMER CAMP 2014- 2014.8.11-8.17

HAGISO

ワークショップ概要

- 会場 | HAGISO / 谷中周辺
- 期間 | 2014年8月11日(月) - 8月17日(日) の6日間 / 中一日休み
- 対象 | まちづくり・建築に興味のある大学生・大学院生
(学年・学部・学科を問いません)
- 参加方法 | 下記メールアドレスに以下の内容を明記し送付ください。
氏名 年齢 学校 学科 連絡先 志望動機(100字以上)
event@hagiso.jp
- 募集人数 | 15名程度 応募多数の場合は選考の上決定となります。
- 応募期限 | 8月1日(金) 結果は8月3日(日)に発表いたします。
- 参加料 | 3000円
- 主催 | HAGISO/HAGI STUDIO

HAGISO SUMMER CAMP とは？

HAGISOでは、施設内のギャラリーにおいて、現代アートなどの展示に加えて、地域的な課題に対する発信を目指しています。古い町並みやコミュニティの残る谷中ですが、建築の新陳代謝とともに建替えが進んでいます。しかしながら、開発の選択肢の無さから、必ずしも地域性を活かした利用に至っていません。

今回は「のこぎり屋根」の敷地を対象として、建築系学生に向けて約一週間のワークショップを開催します。具体的にどのような活用可能性があるのかを検証し、オーナー様に対しても、押し付けではなく、選択肢の提供として提案できるものを目指します。このような試みを通して、当該敷地に限らず、地域全体の意識向上に働きかけていきたいと考えています。参加者は、プロジェクトの関連分野のスペシャリストのレクチャーや、地域住人の生の声を通して、地域における場所の可能性を学んでいきます。

のこぎり屋根とは？

東京谷中の商店街「よみせ通り」に面した敷地に1910年築の元リボン製織工場が通称「ノコギリ屋根」として親しまれていました。しかし、2013年、惜しまれながらも工場は解体され、現在敷地は駐車場として使われています。2013年2月には谷中の「ギャラリーTEN」にて、「谷中のこ屋根展」が行われ、保存された軸組の利用方法や、谷中における開発のありかたなどについて議論が交わされました。今回のワークショップの成果は、2014年11月にHAGISOで予定されている展示「のこぎり屋根展(仮)」にて展示する予定です。

Guest Adviser

椎原 晶子 [たいとう歴史都市研究会 / 副理事長]
広瀬 郁 [トーンアンドマター / 代表取締役]
佐藤 慎也 [日本大学理工学部建築学科 / 准教授]
山崎 範子 [有限会社 谷根千工房 / 代表取締役]

Adviser

栗生はるか [Mosaic Design 主宰]
森 純平 [建築家]
宮崎 晃吉 [HAGISO 代表]
岩崎 晃太郎 [HAGI STUDIO]



椎原 晶子



広瀬 郁



佐藤 慎也



山崎 範子



QRコード

※内容に若干の変更が生じる場合があります。詳しくはHPをご覧ください。

<http://hagiso.jp/>